



日頃より立憲民主党並びに私の政治活動に温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、第211回国会が開会しました。今国会では、令和5年度予算案をはじめ子育て政策や防衛費の増額など我が国の将来を左右する重要な課題が議論されます。

岸田総理は今国会冒頭の施政方針演説で「こども・子育て政策」について「従来とは次元の異なる少子化対策を実現したい」と述べました。しかし、防衛費増額については「5年間で43兆円」という額や財源確保のための法案は出てきているにも関わらず、「こども・子育て政策」については、いまだにその政策の中身も予算額も財源も一切示されていません。防衛費増額への批判をそらす目的で「こども・子育て政策」を利用しているのであれば、許し難いことです。私は教育無償化のさらなる推進や児童手当の拡充など子ども・子育て政策を充実させ、より一層子どもを産み育てやすい社会を実現するため、また、物価上昇に伴う年金の引き上げなど、高齢者の皆様が安心して生きがいをもって暮らすことができる社会を実現するため、これからも努力してまいります。また、今国会では、地域活性化や環境、エネルギー政策、デジタル政策などにも取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

立憲民主党埼玉県第10区総支部長

衆議院議員 坂本祐之輔

国会活動

衆議院 委員会質疑

文部科学委員会

**大学間の格差を助長し、
大学本来の在り方をもゆがめかねない！**

「国際卓越研究大学法案」について、文科大臣に質す

4月27日、衆議院文部科学委員会にて、坂本代議士は、末松信介文部科学大臣(当時)に対し、「国際卓越研究大学の研究及び研究成果の活用のための体制の強化に関する法律案」について質疑を行いました。

坂本代議士は、この法案の多くの問題点を指摘したうえで、質疑終局にあたり、立憲民主党を代表して、反対討論を行い、「今回の法律案で整備する国際卓越研究大学制度は、我が国の研究力を強化するどころか、大学間の格差を助長し、大学本来の自由な発想の下、深く真理を探究し、新たな知見を創造するという目的すらも歪めかねない制度であると言わざるを得ない。本法案に反対する」と訴えました。



末松文部科学大臣に質す坂本代議士

法案提出

重度障がい者に職場・学校、通勤・通学時も介護支援を！

11月8日、坂本代議士他10名の議員は、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の一部を改正する法律案」を衆議院に提出しました。

この法律案は、「職場または学校での介護及び通勤または通学における移動中の介護を重度訪問介護の対象とする」というものです。

坂本代議士は、重度の障がいを抱える方であっても働き、学ぶことができる社会の実現のため、本法案の成立に向け尽力してまいります。



衆議院に法案を提出する
坂本代議士(左から2人目)

地方創生に関する特別委員会

**学校給食の無償化は地方創生臨時交付金ではなく、
国が責任をもって全国一律に行うべき！**

11月17日、衆議院の地方創生に関する特別委員会が開かれ、坂本代議士は、岡田直樹地方創生担当大臣や政府参考人に対し、政府の地方創生への取組等について質疑を行いました。

坂本代議士は、地方創生臨時交付金を活用した物価高騰対策として、一部の自治体で学校給食費の無償化や一部無償化が行われていることを取り上げ、「義務教育下における学校給食ということであれば、公平性の観点からも全国一律に対応するべきであり、地方創生臨時交付金ではなく、文部科学省がきちんと予算措置をして対応すべき」、「物価高騰対策としてではなく、子育て支援・教育政策の一環として恒久的に無償化するべき」と訴えました。



岡田地方創生担当大臣に質す坂本代議士

学校の再編整備にも地域活性化の観点を！

鳩山町 県立鳩山高校 再編整備をうけて

また、鳩山町にある県立鳩山高校が、埼玉県教育委員で承認された「魅力ある県立高校づくり第二期実施方策」において、再編整備の対象校になり、県立越生高校に統合され、廃校する見通しとなっています。坂本代議士は、文部科学省の参考人に対し、地域の活性化の観点から、地域の中に高校や小中学校があることの重要性を説くとともに、高校や小中学校が地域にあることの価値を見直し、地方と一緒に今後のあり方を検討していくべきと訴えました。

国会活動

坂戸市 「にっさい花みず木」への郵便局の設置を要望!

坂本代議士は、坂戸市のにっさい花みず木地区に郵便局を設置してほしいという市民の方々の要望を受け、日本郵便に対し、同地区への郵便局の設置を要望しました。

日本郵便からは、現状では設置は難しいとの回答がありましたが、坂本代議士は「にっさい花みず木地区そして坂戸市のさらなる活性化と地域の皆様の利便性向上のためにも、引き続き設置に向けて検討していただきたい。」と要望しました。



日本郵便の担当役員に要望

学校の水泳授業

スポーツ庁に対し、「ジェンダーレス水着」の着用を要請!

坂本代議士は、学校の水泳授業における水着の着用について悩む子どもを持つ保護者の方からの要望を受け、スポーツ庁に対し、学校の水泳授業の際に着用する水着に関して、男女のデザインが同じで、肌の露出が少ない「ジェンダーレス水着」の着用を要請しました。

スポーツ庁からは、2015年4月に各自治体の教育委員会等に対し、水泳の授業で着用する水着については、それぞれの児童生徒の心情等に十分配慮した対応をするよう要請しているとのことでしたが、自治体によって対応に差があり、現在でも水泳の時期になると水着のことで悩んだり、つらい思いをする子どもたちが多くいるというのが実態です。

水着の着用について悩む子どもには、LGBTQの子どもだけでなく、体形や体毛、アトピー等さまざまな事情を抱えた子どもたちがいるとのこと。

学校での水泳授業における水着の着用に対する子どもたちの悩みが理解され、「ジェンダーレス水着」の普及が進むようこれからも訴えてまいります。



スポーツ庁の担当者に要望

地元活動



小川町 メガソーラー建設予定地を視察

1月4日、坂本代議士は、小川町のメガソーラー建設予定地を視察しました。

この建設予定地は、絶滅危惧種の野鳥をはじめたくさんの動植物が生息する自然豊かな地域であり、地域の方々からメガソーラーの建設による自然破壊や土砂崩れなどの災害の発生を懸念する声があがっています。

一方で、太陽光発電は、地球温暖化対策や原発ゼロを実現するうえで、重要な電源のひとつです。

太陽光発電を普及させるためには、国として環境にしっかりと配慮したルールをつくる必要があります。



建設予定地を視察

坂本ゆうのすけ プロフィール

- 現在**
- 衆議院
 - ・ 環境委員会 委員
 - ・ 地域活性化・こども政策・デジタル社会形成に関する特別委員会野党筆頭理事
 - 立憲民主党
 - 「次の内閣」
 - 総務副大臣 兼 内閣府担当副大臣
 - ・ 日本スキー指導者協会 会長
 - ・ 東松山市スポーツ協会 会長
 - ・ 武蔵丘短期大学 客員教授

主な経歴

- ・ 東松山市長（4期）
- ・ 民進党副代表
- ・ 衆議院 科学技術・イノベーション推進特別委員会 委員長
- ・ 日本スポーツ少年団 本部長
- ・ 全日本スキー連盟 副会長
- ・ 埼玉県体育協会 会長
- ・ 埼玉県立松山高等学校 / 日本大学卒業

趣味・特技 スキー、音楽、釣り、将棋

一貫した政策
命と暮らし最優先
格差解消
教育無償
原発ゼロ
企業・団体献金ゼロ



立憲民主党 立憲民主編集部
 〒100-0014
 東京都千代田区永田町1-11-1
 三宅坂ビル7F
 TEL : 03-3595-9988
 FAX : 03-3595-9088

党員・協力党員
 (サポーターズ)
 募集中!

お申込み、お問合せは
 下記連絡先まで

日々の活動はwebへアクセス!



さかもとゆうのすけブログ 検索